



巻頭文

主任司祭 ベロツティ・ジャンルーカ
(ルーカ神父)

九月一日から、カトリック高幡教会主任司祭、そしてカトリック府中教会協力司祭になりました。

イタリア人でミラノ外国宣教会のメンバーです。来日してから十一年になりました。ルーカ神父と呼んでください。

一九六八年六月十一日イタリアのミラノで生まれ、郊外で育ち、家族は四人です。小学生時代のことですが、図書室にあった日本についての絵本と恋に落ち、日本のアニメ映画をよく見ていました。日本に対する強い関心を持つようになったのがきっかけでした。

二〇〇八年六月七日ミラノ大聖堂で司祭叙階、四十歳の誕生日の四日前、ミラノ外国宣教会の神父として、日本へ派遣して欲しいと総長に頼み、それに同意してくれました。

同年九月三十日に来日し、二年ほどずっと日本語の勉強をしました。その後、さいたま教区で働くことになり、

二〇一〇年に川越教会で最初の任命を待ちながら働きました。二〇一一年四月浦和教会協力司祭、二〇一二年草加教会担当司祭、二〇一六年四月サバティカル(長期休暇)で再び日本語学校に通いました。二〇一七年牧に戻り小山教会・上三川教会の担当になりました。

未来を迎えて、司祭・宣教師としての私の務めは、神様に召されたことを固く信じ毎日祈ることによって、神様との時間を守り続けることだと思えます。次に自分のためではなく、他人のために司祭の使命を果たしていくので、全ての信者、また日常生活の中で出会う人々を一人ひとり大事にし、司牧者たちと積極的に協力することを絶対忘れてはいけないことだと思えます。さらに日本語ばかりか、日本の文化、また社会や教会を通して知識と意識を得ることができるよう、今後とも努力していきたいと思えます。そうすれば、司牧活動や召命の醍醐味を味わうことができますでしょう。

有名な日本人で葛飾北斎と宮崎駿の作品が好きです。カレーライス以外和食が好きで、特にお魚は大好き！皆さまこれからどうぞよろしくお願いたします。

イエスの平和のうちにあ